



HEREとセレンス、高度なAIを搭載したモビリティアシスタントの開発で提携

3月 5, 2020

～よりパーソナライズされ、文脈理解が可能となった車内体験を 世界中のドライバーに提供～

自動車業界に向けてAI技術を提供するCerence Inc. (以下セレンス)は、地図および位置情報プラットフォームサービスの世界的リーダーであるオランダのHERE Technologies (以下HERE)と提携し、HEREのロケーション・インテリジェンス(位置情報サービス)とセレンスのCerence Driveポートフォリオを統合させた高度なAIを搭載したモビリティアシスタント製品の提供を開始することとなりました。

両社は、長期にわたるパートナーシップを基に、HEREが提供する地図API (Application Programming Interface) およびPOI (Point of Interest) データに音声でアクセスする機能を、アウディ、BMW、ダイムラーなどの世界的な自動車メーカーに提供していきます。電気自動車向けの充電スポット、ガソリンスタンド、駐車場、天気などに対応したHEREの音声認識APIは、ドライバーが特定のコマンドの代わりに自然な言い回しで最寄りの電気自動車充電スタンドを探したり、悪天候の場合に目的地の近くにある屋根付き駐車場を見つけたりすることができる対話体験を創出します。

この音声認識ソリューションは、ドライバーの好みや習慣等の継続的なAIベースの学習を通じて、車内体験をさらにパーソナライズします。HEREの豊富な位置情報データは、ドライバーの好みに合わせた文脈情報を提供することで、より適切で関連性のある提案の提供が可能になります。例えば、ドライバーが軽油を提供する24時間営業のガソリンスタンドを頻繁に利用していることをシステムが学習すると、その好みに合った提案を行います。またHEREの3D地図がセレンスのマルチモーダルな車内体験に組み込まれているため、ドライバーが視線検知と音声認識を利用して車外のPOIとやり取りすることが可能になります。

HEREの最高製品責任者(CPO)であるヨルゲン・ベーレンス(Jørgen Behrens)は、次のように述べています。「モビリティアシスタントの人気の高まるにつれて、ドライバーがモビリティアシスタントとその機能を十分に活用できるようにするには、正確な位置情報が不可欠です。セレンスと連携して、車内での生産性と安全性を高める音声対応のマルチモーダル車内体験を作り出すことを嬉しく思います」

セレンスのコア・オートモーティブ部門エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ジェネラルマネージャーであるステファン・オルトマン(Stefan Ortman)は、次のように述べています。「HEREとの提携は、モビリティアシスタントの全体的な性能を最適化するためのコミットメントをさらに強固にするものです。HEREは信頼できるパートナーであり、業界リーダーであり、HEREの広範な地図とPOIデータは、日常生活で頼りになる強力な体験をドライバーにもたらすために極めて重要です」

HERE Technologiesについて

位置情報のデータと技術プラットフォームを提供するHEREは、位置情報の力を利用して人、企業、都市を前進させています。オープンプラットフォームを活用することで、都市のインフラストラクチャ管理や企業の資産最適化を支援することから、ドライバーを安全に目的地に案内することまで、ユーザ

ーにとってよりよいメリットを提供します。詳細については、www.here.comおよび<http://360.here.com>をご覧ください。

セレンスについて

セレンス(Cerence Inc.)は、自動車業界向けに独自のソリューションを提供し、ユーザーの心を動かすような体験を創出するグローバル・リーダーです。当社は世界の大手自動車メーカーと提携し、自動車がドライバーを認知し、反

応し、そして学習する方法の変革を支援しています。その実績は、20年にわたる自動車業界への知見と、約3億2,500万台もの自動車への採用によって裏付けられています。コネクテッドカー、自動運転、電気自動車の将来において、セレンスは明確なビジョンを持っています。詳細については、www.cerence.com をご覧ください。当社の最新情報については公式[LinkedIn](#) および[Twitter](#)からもご覧いただけます。